

全建発第 16 ～ 301 号

平成 16 年 12 月 22 日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第 498 回建設技術講習会 (品質確保と発注者責任) 開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員 9 万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められております。

このたびの第 498 回建設技術講習会では、公共事業の品質確保に向けて発注者が果たすべき責任、多様な入札・契約方式、企業評価や執行体制のあり方等について学ぶとともに、「公共工事入札・契約適正化法」の施行状況、CALS / EC、ISO 9000 規格シリーズ、プロジェクトマネジメントシステムなどに関する最新の情報を得ることを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具



全建発第15～271号
平成15年12月19日

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 北 橋 建 治

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成16年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成16年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道 雄



第498回建設技術講習会（品質確保と発注者責任）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成17年2月23日（水）～2月25日（金）鹿児島県（鹿児島市）において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、「公共事業の品質確保に向けて発注者が果たすべき責任、多様な入札・契約方式、企業評価や執行体制のあり方等について学ぶとともに、「公共工事入札・契約適正化法」の施行状況、CALS/EC、ISO9000規格シリーズ、プロジェクトマネジメントシステムなどに関する最新の情報を得る」ことを目的としています。

なお、本講習会は、国土交通省の後援のもと実施しています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員..... 7,600円〔うち昼食代1,600円（2日分）〕
非会員..... 12,600円〔 〃 〕
（聴講のみ参加も可能です）

現 場 研 修 料：..... 7,200円〔うち昼食代1,200円〕
（現場研修のみの参加はできません）

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、振込名義の初めに、開催回数の「498」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成17年1月28日（金）必着（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

平成17年2月10日（木）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成17年2月18日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記 を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」に指定された講習会です。（CPDS登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 498 回建設技術講習会（品質確保と発注者責任）日程

— 公共事業の品質確保に向けて発注者が果たすべき責任、多様な入札・契約方式、企業評価や執行体制のあり方等について学ぶとともに、「公共工事入札・契約適正化法」の施行状況、CALS/EC、ISO9000規格シリーズ、プロジェクトマネジメントシステムなどに関する最新の情報を得る。 —

会場.....鹿児島市民文化ホール（第 2）
〒890-0062 鹿児島市与次郎 2-3-1 TEL 099-257-8111

開場 9:00		1 日目 平成 17 年 2 月 23 日（水）		（敬称略）
10:10 }	あいさつ	鹿児島県知事	伊 藤 祐一郎	
10:30	〃	鹿児島市長	赤 崎 義 則	
10:30 }	入札契約をめぐる最近の動向	国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術調整官	岩 崎 泰 彦	
12:00				
13:00 }	CALS/EC	国土交通省大臣官房技術調査課	滝 本 悦 郎	
14:00	～国土交通省における取り組み～	課長補佐		
14:10 }	【特別講演】 コンクリート構造物の耐久性照査及び	鹿児島大学工学部海洋土木工学科	武 若 耕 司	
15:10	維持管理について（仮題）	助教授 工学博士		
15:20 }	【地域における技術苦労話】 鹿児島中央駅前広場整備事業について	鹿児島市建設局都市計画部 都市再開発課長	川 辺 充 二	
15:50				
15:50 }	【地域事業の紹介】 西之谷ダムの特徴について	鹿児島県土木部河川課 技術主査	米 丸 智 弘	
16:10 }	温泉環境下における橋梁建設	鹿児島県栗野土木事務所道路課 技術主査	堀 之 内 毅	
16:30	～国道 223 号道路改築事業（小谷拡幅）～			
開場 9:00		2 日目 2 月 24 日（木）		（敬称略）
9:50 }	建設事業における ISO9000 規格と	㈱マネジメントシステム評価センター	水 本 良 則	
10:50	プロジェクトマネジメント	取締役 企画開発本部長		
11:00 }	公共工事の品質確保について	国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐	藤 井 政 人	
12:00				
13:00 }	地方整備局の品質確保の取り組み	国土交通省九州地方整備局企画部 技術開発調整官	松 石 忠 俊	
14:00	～地方整備局で取り組みを中心に～			
14:10 }	民間の品質確保の現状と今後の課題	(社)日本土木工業協会公共工事第 2 研究部会 委員 (前田建設工業㈱土木本部土木部 工務グループ課長)	赤 坂 幸 雄	
15:10	～発注者に期待する事項～			
15:10 }	閉会のあいさつ	鹿児島県建設技術協会長	郡 山 博 昭	

地域の独自調査

【現場研修】 3 日目 2 月 25 日（金）

鹿児島中央駅西口駐車場（8:40）集合 → 石橋記念公園整備事業（下車説明）
→ 鹿児島港本港区再開発事業（下車説明） → 桜島国際火山砂防センター（下車説明）
→ 昼食（鹿児島市内） → 国道 220 号早崎防災（車窓見学） → 上野原縄文の森整備事業（下車説明）
→ 鹿児島空港（16:00）着後解散 → 鹿児島中央駅西口（17:00）着後解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。

講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

C P D S 学習プログラム認定技術講習会

第 498 回建設技術講習会 現場研修事業の概要について

1 石橋記念公園整備事業

..... 鹿児島市浜町地先

鹿児島市の中心を流れる甲突川には、かつて上流から玉江橋、新上橋、西田橋、高麗橋、武之橋の 5 つの大きなアーチ石橋が架かり、「甲突川の五石橋」として県民に親しまれてきましたが、1993 年（平成 5 年）8 月 6 日の集中豪雨による洪水で、武之橋と新上橋が流失してしまいました。

そこで残った 3 橋は、貴重な文化遺産として後世まで確実に残すため、河川改修に合わせて移設して保存することになり、五石橋の歴史や技術等を伝える石橋記念館を整備して、2000 年（平成 12 年）に石橋記念公園として開園した。



3 鹿児島港本港区再開発事業

..... 鹿児島市本港地先

鹿児島港は、鹿児島市の北から南へ約 20 km の範囲に及び、7 つの港区から成り立っています。

このうち、鹿児島港発祥の地である本港区については、離島航路の集約化を図るとともに民間活力を導入して、商業サービス施設等の賑わいと憩いの空間を形成し、21 世紀に向けた南の拠点“みなと鹿児島”の創造を目指していると

ころです。

今後、北ふ頭、水族館、桜島フェリーターミナルビルに続いて南ふ頭や中央緑地等の整備を進めるとともに、商業サービス施設等を段階的に整備していくこととしています。



4 桜島国際火山砂防センター

..... 野尻町地先

桜島は常時活動を継続している活火山であることから、その斜面には樹木が生育せず裸地状態を呈しており、また降灰などの火山噴出物が厚く堆積しているため、少量の降雨においても土石流が発生しやすく、野尻川では年間 15 回～20 回、全島でも年間約 63 回と日常化しています。このような状況下で「土石流や火山活動の集中監視」を行い、「砂防工事関係者の安全を確保する」ことを目的に「桜島土石流発生集中監視施設」を計画しました。さらに、「火山活動・土石流に関する情報を日常的に地域住民に提供する」目的も合わせ持つものとなりました。



5 上野原縄文の森整備事業

..... 国分市川内地先

上野原遺跡は、平成 8 年の発掘調査で縄文時代後期の竪穴式住居跡などが発見され、今から 9500 年前の国内では最古・最大級の定住集落跡であることが判明しました。

この貴重な遺跡を生かし、「縄文の世界と向き合い・ふれあい・学び・親しむ場」にすることを目指して「上野原縄文の森」として平成 14 年 10 月 5 日に整備された施設です。

展示施設や埋蔵文化財資料センターを備え、「見学エリア」と「体験エリア」に分けられているのが特徴です。



第 498 回建設技術講習会の宿泊幹旋及び予約申込案内

宿泊料金: 宿泊希望者には鹿児島市内のホテルを下記のとおり幹旋いたします。
宿泊予約申込: 別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿泊予約金: 宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
送金先: 西鉄旅行㈱ 東京営業本部 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
 銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座№1015114
 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル 6F）
 お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「498」を付け加えて下さい。
問い合わせ先: 西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
 「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 17 年 2 月 10 日（木）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 17 年 2 月 18 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

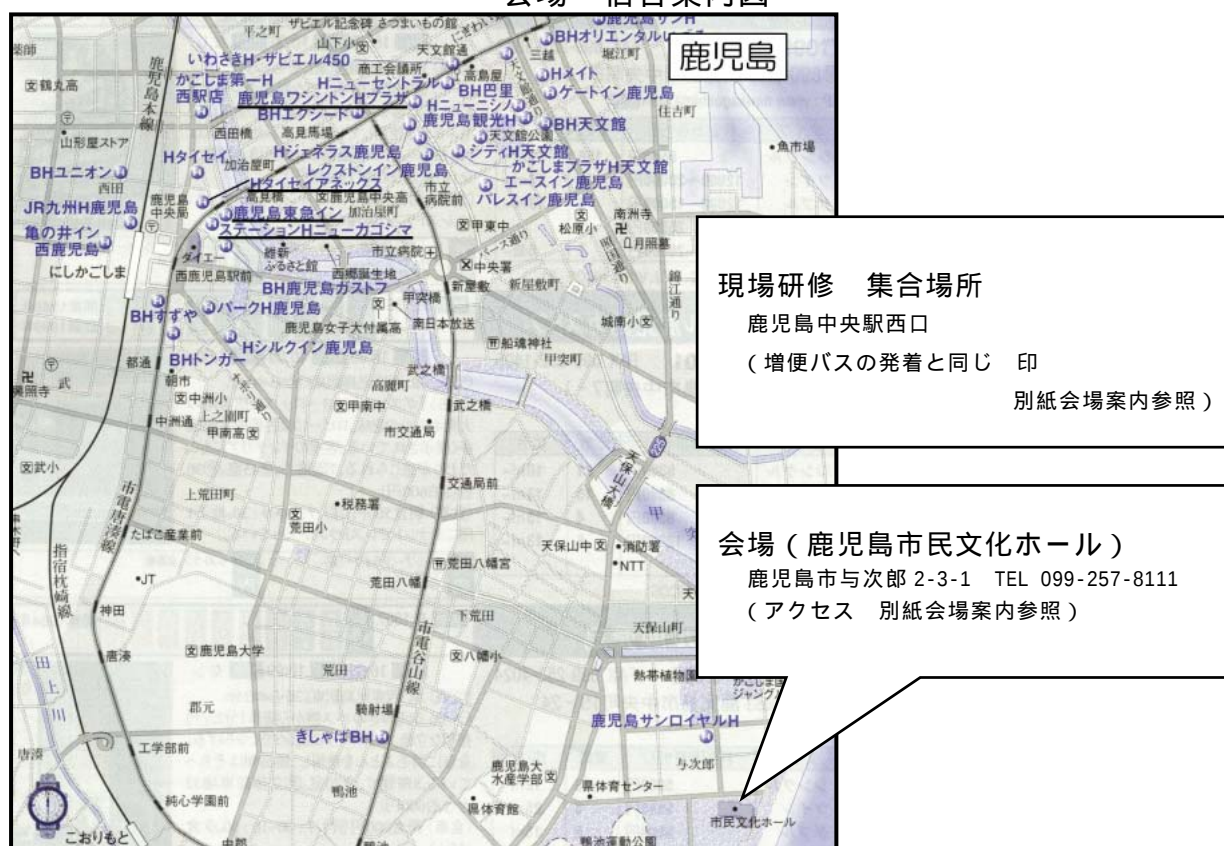
幹旋する宿舍名、宿泊料

平成 17 年 2 月 22 日（火）・23 日（水）・24 日（木）（1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	鹿児島ワシントンホテルプラザ	鹿児島市山之口町 12-1 TEL: 099-225-6111	シングル	50 名	9,500 円
	鹿児島東急イン	鹿児島市中央町 5-1 TEL: 099-256-0109		50 名	9,000 円
B	ステーションホテルニューカゴシマ	鹿児島市中央町 6-5 TEL: 099-253-5353		30 名	7,700 円
	ホテルタイセイアネックス	鹿児島市中央町 4-32 TEL: 099-257-1111		20 名	7,500 円
宿泊幹旋人数合計				150 名	

* 宿舍が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。
 また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

会場・宿舍案内図



第 498 回建設技術講習会の会場案内

- 会場 鹿児島市民文化ホール <http://www.kagoshima-hall.or.jp/map.htm>
鹿児島市与次郎 2-3-1 TEL 099-257-8111



○交通案内

【市内バス】

■鹿児島市営バス

- ・16番 鴨池港・文化ホール線（水族館前→市役所前→天文館→高見馬場→交通局前→天保山→市民文化ホール前→鴨池港） 天文館～市民文化ホール前 180円 時間3本程度運行
- ・27番 中央駅・与次郎線（鹿児島中央駅→甲南高校前→上荒田町→市民文化ホール前→鴨池港） 鹿児島中央駅～市民文化ホール前 180円 時間3本程度運行

■鹿児島交通

- ・23-1番 鹿児島駅前・県庁前線（鹿児島駅前→天文館→鹿児島中央駅→新屋敷→市民文化ホール前→農協会館前→県庁前） 天文館～市民文化ホール前 180円 時間1本程度運行
- ・32-1番 鹿児島中央駅前・鴨池港線（鹿児島中央駅→新屋敷→交通局前→市民文化ホール前→農協会館前→鴨池港） 鹿児島中央駅～市民文化ホール前 180円 時間1本程度運行
- ・32-2番 鹿児島中央駅前・県庁前線（鹿児島中央駅→新屋敷→交通局前→市民文化ホール前→農協会館前→県庁前） 鹿児島中央駅～市民文化ホール前 180円 時間1本程度運行

【増便バス】（本講習会のために2月23日（水）・24日（木）運行する増便バス）

- ・鹿児島中央駅前西口バス乗り場（印）より出発。途中の停留所には、停車しません。
- ・運行予定（運賃180円、乗車時間20分程度、バス数台（満車になりしだい順次出発））

	行 き 出発時間 （鹿児島中央 駅西口発） 印	帰 り 出発時間 （市民文化ホ ール前発）
2/23 （水）	9：00 ） 9：20迄	16：30 （終了後） ）
2/24 （木）	9：00 ） 9：20迄	15：10 （終了後） ）



第 498 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意ください。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A ～ F を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行(株)宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169

「全建担当デスク」迄

【往路】2月22日（火）講習会前日

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	羽田空港 → 鹿児島空港 16:30 18:20	ANA 6 2 7 (全日空)	60 席	16,500 円
B	伊丹空港 → 鹿児島空港 16:45 17:55	ANA 5 4 9 (全日空)	15 席	13,500 円
C	名古屋空港 → 鹿児島空港 17:00 18:20	JAL 3 2 9 7 (日本航空)	15 席	16,500 円

【復路】2月25日（金）現場研修終了後

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
D	鹿児島空港 → 羽田空港 17:35 19:15	JAL 1 8 7 4 (日本航空)	70 席	17,500 円
E	鹿児島空港 → 伊丹空港 17:45 18:55	JAL 2 4 1 2 (日本航空)	15 席	14,000 円
F	鹿児島空港 → 名古屋空港 17:50 19:00	ANA 3 6 0 (全日空)	15 席	17,500 円

- ・上記代金には、航空保険特別料金（1区間 300 円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約 30 分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・割引率は飛行機に時間帯（便）により異なります。

【乗り継ぎ時間のご案内】

- ・同一航空会社利用の場合は、30 分以上の乗り継ぎ時間が必要となります。
- また、羽田空港全日空新ターミナル(第二旅客ターミナル)OPENに伴い、全日空便及びエアー北海道便と他社便の乗り継ぎの場合は、50 分以上の乗り継ぎ時間が必要となります。

【団体航空便取消料】片道 1 席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭 乗 区 間	2/8～2/11 に取消した場合	2/12～2/18 に取消した場合	2/19 以降便出発ま でに取消した場合
A, D	羽田空港 鹿児島空港	3,000 円	6,000 円	9,000 円
C, F	名古屋空港 鹿児島空港			
B, E	伊丹空港 鹿児島空港	2,000 円	4,000 円	6,000 円

- ・便出発後の取り消しの場合、一切払い戻し出来ません。

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____ 印
(特別 賛助会員名)

第 498回建設技術講習会 (品質確保と発注者責任) 申込書

参 加 者		勤 務 先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現 場 研 修	宿泊予約日			航空便申込	
(フリガナ) 氏 名 (参加者が女性の場合は番号に○囲みして下さい)	年 齢		正 会 員	非 会 員			予約日に A・Bを記入			予約便にA ～Fを記入	
							2/22	2/23	2/24	往 路	復 路
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料 正会員 特別会員 賛助会員 名 × 7,600円 = " (昼食不要) 名 × 6,000円 = 非 会 員 名 × 12,600円 = " (昼食不要) 名 × 11,000円 = 現場研修料 名 × 7,200円 =						↑ 現場研修の 昼食は不要 の申し出は できません	宿泊予約金 泊 × 4,000円 航空便 往路 名 × 円 復路 名 × 円				
計							計	円			

↓ 全建に振込

↓ 西鉄旅行に振込

※申込み後の変更・取り消し・追加方法について

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、
「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。
全建FAX 03 - 3586 - 6640 迄

(昼食について)

聴講時の昼食について

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。
現場研修時の昼食について：
現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。